

## 会 議 記 録 (1)

会議名称	平成28年度第1回北本市総合教育会議
開会及び閉会日時	平成28年5月26日(木) 午後3時30分から午後5時00分
開催場所	北本市役所会議室3-F
議長氏名	北本市長 現王園 孝昭
出席委員(者)氏名	教育長：真尾 正博、教育委員(教育長職務代理者)：島寄 直子 教育委員：大保木 道子、教育委員：金井 裕 教育委員：鈴木 義信
欠席委員(者)氏名	教育委員：安田 美詠子
説明者の職氏名	企画財政部長：荒井 照男、企画財政部参事兼企画課長：齊藤 仁 教育部長：吉田 伸吾、教育部副部長兼文化財保護課長：磯野 治司 学校教育課長：酒井 一昭、学校教育課副課長：佐藤 貴広 生涯学習課主幹：島田 輝雄
事務局職員職氏名	教育総務課長：大島 一秀(司会) 教育総務課管理担当主査：山本 一真(書記)
会議次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 出席者紹介 5 議題 (1)児童生徒等の安全対策について ア 現状の取組みについて(報告) イ 今後の取組みについて(提案) (2)国際化に対応するための英語教育の強化について ア 現状の取組みについて(報告) イ 今後の取組みについて(提案) 6 その他 7 閉会
配布資料	ア 資料No.1-1児童生徒等の安全対策(現状の取組み) イ 資料No.1-2児童生徒等の安全対策(今後の取組み) ウ 資料No.2-1国際化に対応するための英語教育の強化(現状の取組み) エ 資料No.2-2国際化に対応するための英語教育の強化(今後の取組み)

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
教育総務課長	<p><b>1 開 会</b>            定刻となりましたので、只今から、「平成28年度第1回北本市総合教育会議」を開会いたします。次第に従いまして現王園市長より、ご挨拶をお願いいたします。</p>
市長	<p><b>2 市長あいさつ</b>            (市長あいさつ)</p>
教育長	<p><b>3 教育長あいさつ</b>            (教育長あいさつ)</p>
教育総務課長	<p><b>4 出席者紹介</b>            続きまして、本日の会議出席委員及び事務局職員の紹介をさせていただきます。            (教育委員の紹介、事務局職員の紹介)</p>
教育総務課長	<p><b>5 議題</b>            それでは、本日の協議事項に移りたいと存じます。なお、協議事項の進行につきましては、「北本市総合教育会議運営要綱」の第4条第1項の規定に基づき、市長が議長を務めることとなっておりますので、進行につきまして、よろしくをお願いいたします。</p>
市長	<p>只今の事務局のご案内のとおり、議長を務めさせていただきますので、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。</p>
市長（議長）	<p>それでは、本日の協議事項に入らせていただきます。本日の議題は次第にお示ししています2件でございます。            なお、議題(1)及び(2)ともに、地域の実情に応じた教育の振興を図るための重点的な施策として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第一条の四第1項第一号に掲げる協議事項となりますので、慎重な審議につきましてよろしくをお願いいたします。            まず、議題(1)の「児童生徒等の安全対策について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
教育部長	<p><b>(1)児童生徒等の安全対策について</b>            ア 現状の取組みについて (報告)            イ 今後の取組みについて (提案)            (議題(1)の説明)</p>
市長（議長）	<p>只今、議題(1)の「児童生徒等の安全対策について」事務局より説明がありました。            児童生徒等の安全対策にかかる取組みの報告と提案事項につきまして、何かご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
大保木委員	<p>最近の取組みに掲げる、防災無線による下校放送の実施については、地域住民の意識向上にも繋がるのが期待でき、良い取り組みと考えられます。参考質問として、実施前に懸念されていた、騒音等による苦情は実際にあったものか伺います。また、資料1-2の具体的な方策の(1)</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>に掲げる「登下校中の避難訓練」の実施の具体的方法についても、どのように検討しているものか併せて伺います。</p> <p>騒音苦情については、放送実施後に数件寄せられました。放送設備付近に居住する方にとっては音も大きく取れ、防災放送の種類・回数が増えることに難を示す様子でした。しかしながら、当該取り組みの趣旨を丁寧に説明したところ納得いただき、事業継続についてもご理解をいただきました。</p> <p>二つ目の質問の避難訓練の実施方法についてですが、これまで自然災害等を想定した訓練が主となっていましたが、今後は学校内で不審者に遭遇した場合の訓練のほかに、想定外のことにも対応できる様な訓練として、学校外・登下校時に不審者に遭遇した場合の訓練実施を検討するものです。具体例としては、「こども110番の家」への避難体験など、各関係者と実施に向けた協力体制の確立について、現在研究しています。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>登下校の流れの見直しとして、「通学路安全マップ」の活用を掲げていますが、現時点における危険箇所数は、どの程度か伺います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>各学校において危険箇所を捕捉し、マップの作成と管理を行っているため、本日の関係資料からは集約数は把握できません。補足説明としまして、当該マップについては、交通事故が多発する箇所や、不審者の目撃箇所を落とし込むものとなっています。</p>
<p>島寄委員</p>	<p>児童生徒数が年々減少傾向にあり、学校訪問時においても空き教室が数箇所見受けられます。改めて学校の広さを実感するとともに、死角となる箇所も窺え、外部侵入者に対する対応について心配されます。現時点での防止策・対応策について伺います。</p>
<p>教育部長</p>	<p>まず、児童生徒が在校する時は、門扉を確実に閉めることが基本的な防止策となります。これだけで、侵入者は侵入を躊躇するという研究成果が出ている様であります。もう一点として、「地域活動室」の活用が掲げられます。活動者による定期的な校内巡回を実施し、地域の方との協力による防犯体制を確立しております。</p>
<p>金井委員</p>	<p>安全対策については、これまで色々な取り組みを行ってきましたが、それらに関わる教員・PTA・地域の方などのマンパワーにも限りがあると思われれます。参考意見ですが、防犯にかかるハード面の充実・投資として、学校内の防犯カメラの増設や、可能であれば通学路への防犯カメラ設置、また、それらを活用するための教員研修・意識向上などへの取り組みも検討いただければと思います。事故等は未然に防ぐことが大前提ですが、起こってしまった後の素早い対応の確立について、研究をお願いします。</p> <p>併せて、資料1-2の(2)の携帯電話・スマートフォン等によるトラブルの防止策に掲げる、「使わせる・活用させる指導へ」についてですが、前向きな取り組みではあるものの、教員・保護者とも情報や対応について行けなくなることが懸念されます。今回の提案として示す理由について伺います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>現在、携帯電話・スマートフォン等については、教室内への持込を禁止しています。また、使用に際し、情報の持つ利便性と危険性についても指導をしていますが、なかなか事件・事故の減少に繋がらない状況です。この状況を踏まえ、実施に際しては、色々な制限・条件付きとなりますが、正しい活用方法・利用により安全に繋げる指導への切替えについて研究・検討するため提案をするものです。</p>

金井委員	現時点において当該方策は推奨できるものではないが、慎重に研究を重ね、保護者にも正しく理解いただく様、細心の注意についてお願いしたい。
鈴木委員	児童生徒の携帯電話等の所持率について、把握をしているものか伺います。
学校教育課長	本日の資料に数値等を示すものはありませんが、かなりの数であることが想定されます。所持率は高校生でほぼ100パーセントとなり、中学生で全体の7割、小学生で半数以上と推測されます。学年が上がる毎に所持率も上がる傾向にあります。
市長（議長）	携帯電話等によるトラブルにより、市内で発生した児童生徒事故等の最近の事例について、事務局より報告をお願いします。
学校教育課長	よくある事例としては、LINEを使った子ども達同士による誹謗中傷があります。仲良く会話をしている際に、エスカレートして、互いに罵り合う結果となってしてしまうものです。そのほか、ネット上の出会いから、見知らぬ人と実際に会って連れ去られ、数日間不在となってしまった事件もありました。子どもは無事に発見され、相手方も処罰された状況ですが、その家庭にも様々な問題があり、そのことが出会うきっかけとなった模様です。使用アプリやツールによっては、保護者や教員がチェックできないものもあり、これらの対応策が課題となります。
市長（議長）	これらの諸問題に対応するための取組みについては、学校のみならず家庭に対しても必要です。ネット上では年齢や子どもと大人の識別も無いため、興味本位で出会ってしまい、結果、トラブルに巻き込まれてしまう。先程の事例では、幸いにもGPS機能を使って無事に発見されましたが、学校・家庭とも行方不明に気付くまでタイムラグがあったとも聞いています。このような事件が既に身近に起きている事を認識し、難しい問題ではあるが、安全対策については、市・教育委員会の共通認識のもと考えていかなければならない。また、安全対策については、家庭環境の問題や、児童・生徒虐待等の問題についても視点を置き、対応策を講じる必要があります。西東京市では、児童生徒の欠席日数に応じた各対応策を明文化した「西東京ルール」を実施しています。事故等を未然に防ぐため、本市においてもこのようなシステムの構築・体制作りについて検討して行きたいと感じています。
教育部長	市長のお話のとおり、安全対策については、不審者や交通事故のほか、虐待や自殺問題についても因果関係があるもので、セーフスクールの取組みの中でも触れているものがございます。特に児童虐待問題については、迅速な情報収集と対応が重要であり、各学校においても、市教委への速やかな報告に努めています。ケースも近年多様化しているため、引き続き、スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携強化を図ります。  (他に意見なし)
市長（議長）	それでは、児童生徒等の安全対策にかかる取組みの報告と提案事項につきましても、ご承認ということでよろしいでしょうか。  (全員、異議なしの声)
市長（議長）	それでは、議題(1)の「児童生徒等の安全対策について」につきまし

<p>市長（議長）</p>	<p>ては、承認とさせていただきます。</p> <p>続きまして、議題(2)の「国際化に対応するための英語教育の強化について」事務局より説明をお願いします。</p> <p><b>(2)国際化に対応するための英語教育の強化について</b>  <b>ア 現状の取組みについて（報告）</b>  <b>イ 今後の取組みについて（提案）</b></p>
<p>教育部長</p>	<p>(議題(2)の説明)</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>只今、議題(2)の「国際化に対応するための英語教育の強化について」事務局より説明がありました。</p> <p>国際化に対応するための英語教育の強化にかかる取組みの報告と提案事項につきまして、何かご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
<p>島寄委員</p>	<p>小学生の英語教育の実施状況や習得状況について、どの様に捉えているものか伺います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>これまで、指導主事が授業参観を行い、英語教育の強化に向けた指導や取組みについての助言を行ってきました。また、英語に対する子ども達の興味・関心は高く、力もついてきているものと推測されます。しかしながら、授業や教科書で学ぶ内容は限られており、国際化が進むこれからの社会において、実践的な英会話力を身につけることも必要と考えられ、その取組みについて、今回の提案をするものです。</p>
<p>大保木委員</p>	<p>文科省や有識者会議における「小学校からの英語指導」の提言については、小学校教員の英語免許の取得方法の確立が課題と思われます。小学校での英語授業の実施が困難なため、外国語指導助手（以降、ALTと表記）による外国語活動で対応しているものの、今一步、活動の領域を超えられない様に感じられますが、ALTは、子ども達が外国人に対して親近感を持ち、英語への関心を高めるために必要な存在であることに変わりありません。先進国では小学校における英語教育が進んでいますが、本市としては小学校授業の中で、本格的な英語授業に取り組むことを検討しているものか伺います。</p>
<p>教育長</p>	<p>実態調査と分析により、今後の指導方法を検討するため、英語教育に関するアンケートを実施したところ、児童生徒の英語に対する関心の高さが判明しました。英語教育の中で、最も楽しいことについて質問したところ、英語を使った会話の楽しさを掲げていました。現在の英語教育の大きな問題としては、教室で学習した英語を、生活に密着した中でいかに活用できるかです。英会話への関心が高いことが窺えるアンケート結果からも、子ども達に英会話の必要感を持たせるための授業を展開することが大切と思われます。また、教職員も英語教育を進めるうえで不安に掲げる事項として、教職員自身の英語力の向上を掲げていました。</p> <p>これらを踏まえ、教育委員会としては、子ども達が自信を持って英会話ができる様な授業を展開するため、教職員にも自信を持たせるための指導・研修会を実施してまいりたいと思い、その橋掛けとして、今回の具体的取組みについて提案をするものです。</p>
<p>大保木委員</p>	<p>提案の取組みについて教職員は賛成すると思われます。教職員の英会話に対する不安解消や課題克服に繋がることを期待します。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>私も海外への留学経験があり、体験談となりますが、30歳代での英語の会話力・語学力は身につけにくく、苦勞した覚えがあります。若い</p>

	<p>年齢からの英語教育については、習得がスムーズとなるメリットも考えられますが、留学時に感じたことは、日本人としての主体性・アイデンティティを備えることだと思いました。自国の文化や生活について、しっかりと身に付けさせる教育も英語教育と平行して必要と感じます。</p> <p>(他に意見なし)</p>
市長（議長）	<p>それでは、国際化に対応するための英語教育の強化にかかる取組みの報告と提案事項につきましては、ご承認ということでよろしいでしょうか。</p> <p>(全員、異議なしの声)</p>
市長（議長）	<p>それでは、議題(2)の「国際化に対応するための英語教育の強化について」につきましては、承認とさせていただきます。</p>
市長（議長）	<p>以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。 ここで、議長の任を解かせていただきます。円滑な議事進行にご協力賜り、誠にありがとうございました。</p>
教育総務課長	<p><b>6 その他</b> それでは次第の6「その他」でございますが、議事内容以外の意見交換の場とさせていただきます。ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
市長	<p>それでは私から2点お願いがございます。 1点目は、これまで本市独自に実施してまいりました教育施策の事業成果と今後の方向性についての検証と検討です。2点目は、全国学力テストの公表についての再検討をお願いします。特に1点目については、学校4・3・2制推進事業や市費採用教諭の配置による少人数学級編制事業、また、それに連動して、児童数の減少が進む栄小学校と中丸東小学校の今後の在り方について、慎重に検証をお願いします。そのほか、生涯学習の分野としても、郷土芸能の継承問題が掲げられ、学校教育との係り合いについての研究もお願いします。 本市においても少子高齢化が進み、厳しい財政状況のもと、社会保障にかかる経費負担の増額が見込まれ、学校施設をはじめとした老朽化の進む公共施設については、総合管理計画による、財政状況を踏まえた計画的な設備整備投資についての検討をしております。 こうしたことから、今後の教育分野における財源投資につきましても、真に必要とする事業への投資について見極めをする状況にございますので、是非、慎重なる検証とご議論について、今後もお願いいたします。</p>
大保木委員	<p>少人数学級編制事業と児童数の減少対応の問題については、結び付ける事柄でないものと思われまます。児童生徒数の減少に伴う学校の統・廃合は、別な視点から協議する案件であり、少人数学級編制事業は、本市教育施策の最大の特徴であるものと考えています。当該事業の「きめ細かな教育」の実施による教育効果は高いものと推測されます。また、学校4・3・2制推進事業については、現在研究中の事業であり、その事業効果の検証については、もうしばらくの時間をいただきたい。</p>
市長	<p>色々な手法について検討いただき、教育への財源投資も含めて、本市教育の充実のため、今後も皆様とご議論いただければと思います。</p>
教育総務課長	<p>その他にご意見等ございますか。</p>

教育総務課長	<p style="text-align: center;">(他に意見なし)</p> <p>7 閉会 以上をもちまして、本日の会議はすべて終了いたしましたので、平成28年度第1回北本市総合教育会議を閉会といたします。慎重なご審議賜りありがとうございました。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。 平成28年6月 1 日</p> <p style="text-align: center;">会長(北本市長) <u>理五(副)孝昭</u></p>	